

平成 28 年 3 月定例議会

# 教 育 長 教 育 方 針

田原市教育委員会教育長 花井 隆

## 教育長教育方針（3月議会初日 2月29日）

<はじめに>

平成28年度の田原市の教育方針と主要施策について、私から述べさせていただきます。

昨年4月に新しい教育委員会制度の教育長として就任して以来、約1年が経過いたしました。その間、教育委員を始めとして多くの方々と、教育に関する様々な課題について、議論してまいりました。また、市長と共に設置した総合教育会議においては、新たな教育大綱の策定にむけての審議を重ね、この3月には公表できる運びとなりました。その中においては、平成22年度に策定した田原市教育振興基本計画の基本理念により進めて参りました「ふるさと教育」の考え方を踏襲し、今後も教育を通して、市民の皆様によりいっそう「ふるさと」を愛していただき、心豊かな人生を送っていただきたいと願っております。

<学校教育>

さて、平成28年度に向けた教育方針と主要施策でございますが、まず学校教育の分野におきましては、第1に、「教育環境の充実」を図ってまいります。その中で、学校再編につきましては、一昨年の12月に「学校全体配置計画」を発表し、順次進めているところでございまして、この4月には、野田中学校を田原中学校に統合することとなっております。また、伊良湖岬中学校や泉中学校についても地域の方々と統合・再編についての話し合いを進めているところでございます。しかしながら、これらの学校全体配置計画を予定にしたがって進めていくのではなく、時間をかけて多くの方々の意見をお聞きした上で、また計画の見直しも視野にいたした上で、丁寧に進めていこうと考えております。

また、本市の小中学校の施設につきましては、教育環境が十分整っているといえる状況でなく、昭和40年代から50年代にかけて建設された施設が多く、老朽化が進んでいるのが現状であります。平成28年度は野田小学校の体育館の建て替えを行ってまいりますが、その他の施設についても、建て替えをするのか、又長寿命化改修を行ってこれからも使用して行くのか等、今後、十分な検討をしてまいりたいと考えております。

第2に「いじめ防止・不登校対策」でございます。「いじめ」は、どの学校でも起こり得る問題で、どの子どももいじめの被害者にも加害者にもなり得るという全ての

子どもに関わる問題であります。昨年「いじめ防止方針」を策定し、いじめ根絶のために学校、家庭、地域、行政が連携して「いじめをしない、させない、見逃さない」ための取り組みを具体的に挙げました。これらを実行する事により、子ども達一人一人が「自分は大切にされている」という実感を持つとともに、互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と責任を身に付ける事が出来ることで、「いじめ」がなくなっていくものと考えております。

不登校対策におきましては、子ども達が不登校になる原因には、家庭環境や人間関係、学力不振など、様々な事が考えられます。これらの要因を取り除くために、学校現場の支援として、教育サポートセンターを核に相談活動を充実し、引き続き「まず一人を救う、新たな一人を出さない」という方針で進めてまいります。

第3に「学力向上」でございます。平成27年度の全国学力学習状況調査についての結果は、全国平均正答率よりも低いという状況でございました。これらの結果をさらに分析し、より一層基礎・基本の定着を図るために、授業のあり方、家庭学習の方法等を見直し改善していく事が大切であると考えております。そして、子ども達が充実した学校生活を送ることにつなげていきます。

また、平成32年度からの小学校での英語活動の教科化を見据え、「小学校英語研究モデル事業」を実施して小学校における英語教育をどのように行っていったらよいかを研究してまいります。

第4に、「ふるさと学習」の質の向上を目指してまいります。学校と家庭と地域がいつそう連携できるように、さまざまな活動を行ってまいります。

例えば、地域を愛する心や主体的な課題解決能力を育む「学校・地域「創」プロジェクト事業」や「首長部局との協働による学校モデル構築事業」など、地域の方々のご協力をいただきながら今まで以上に進めてまいります。

今後とも学校の特色や地域の良さを活かした教育活動を展開してまいりたいと考えております。

## <生涯学習>

次に生涯学習の分野でございます。生涯学習とは、日常生活の中で行われる様々な学習活動で、一人一人の人生が生きがいのある充実したものとなっていきます。現在作成中の「生涯学習振興計画」は、様々な学びを通して、人々の交流が深まり、豊かな地域社会の構築に役立つものと期待しています。

そこで第1に、学ぶ機会の充実として、児童生徒文化体験教室、少年少女発明クラブ、しおさい大学などの事業を今まで以上に充実してまいりたいと考えています。ま

た、放課後児童健全育成事業として実施しております児童クラブ、放課後子ども教室については、待機児童を出さないことと共に、児童が安心して過ごせる居場所としての質の充実を図ってまいりたいと考えています。

第2には、ふるさとの歴史と文化を後世に継承していくため、4年間かけて編集してまいりました「田原赤羽根史現代編」が刊行できる運びとなりました。これは、合併前に出来上がっている「渥美町史」に続いて、「田原町史」と「赤羽根町史」が加わったため、田原市全体の現代史が完成したということで、ぜひ多くの方々に読んでいただきたいと思います。

また、文化財の調査、保美貝塚、天然記念物や東三河ジオパーク構想をはじめとする半島の自然の保存、活用を進め、市民を始め子どもたちにもふるさとの歴史、文化、自然等を知ってもらう講座、刊行物を充実していきます。

第3に、博物館事業におきましては、巨人の星で有名な「川崎のぼる展」や白昼夢のような美しく詩的な絵画で有名な「ポールデルヴォー展」など、市民に親しみのある新しい企画展を開催したり、ふるさとにゆかりの芸術家の展覧会を開催したりすることで、市民の皆様が身近に感じる博物館としてまいりたいと考えています。

第4に、図書館事業におきましては、平成27年度の始めに「まち・ほん 生涯読書振興計画」を策定いたしました。読書習慣は自分で考え行動する習慣に繋がります。本をめぐる語らいは、人と人の心をつなぎ、生涯にわたる心身の健やかな成長に欠かせません。そのために気軽に読書が出来る環境を整え、読書活動を振興することが不可欠であると考えます。今後、学校図書館の機能強化とバックアップのための学校図書館支援センターの設置を検討し、教育関係以外の分野との協働・連携しながら、読書や図書館利用のさらなる推進を図り、市民が使いやすい読書環境を整備するよう努めてまいります。

## <スポーツ>

次に「スポーツ振興」の分野でございます。この3月には「スポーツ推進計画」を策定します。これは、市民がスポーツを通じて豊かな心を育み、健康で幸せに暮らせるよう、いつでも、どこでも、誰でもスポーツに親しむ事ができるような生涯スポーツ社会の実現を目指すものであります。また、スポーツの力で市民の交流を活発化させ、地域の活力を生み出すと共に、スポーツを目的に市外から訪れる人を増やし、交流人口を増加させて地域社会の活性化に繋げる事を目指すものであります。

その第1として、子どもから高齢者までの全ての世代で、スポーツを始められるきっかけづくりの事業を行うとともに、スポーツを楽しむための指導者の育成や団体へ

の支援を充実してまいります。

第2として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおけるサーフィン会場の誘致活動を行ってまいります。市長も申し上げておりますが、東京オリンピックやスポーツに対する気運を高め、地域を活性化させる起爆剤にしていこうというものでございます。

第3として、スポーツ施設の整備充実です。スポーツ活動には、それをを行うための適切な施設が必要となります。また本市は、海や山等アウトドアスポーツができる自然環境も充実していますが、自然の中で楽しむスポーツであっても周辺環境の整備は必要です。そのため、スポーツ振興を行うために必要な施設環境を見極め、計画的に整備充実をしてまいりたいと考えます。

その一つとして、白谷海浜公園陸上競技場については、第4種公認の競技場を更新するための改修工事を実施いたします。その外の施設につきましても必要な施設については順次改修を行なってまいります。

以上、平成28年度の教育方針と主要施策について申し上げましたが、これらの方針、施策を実施していくにあたりましては、市長部局との連携を密にし、学校や家庭の理解、地域のご協力を得ながら取り組んでまいります。

議員各位並びに市民の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。